

22年度決算のあらまし

22年度決算について概要をお知らせします。
22年度の一般会計決算額は、歳入額が380億724万9435円、歳出額は368億9469万6794円となりました。また、一般会計と国民健康保険・後期高齢者医療・老人保健・介護保険・下水道事業の5つの特別会計を合計した歳入額は、605億4540万2877円、歳出額は590億1930万2029円となりました。
詳しくは財政課☎470・7706へ。

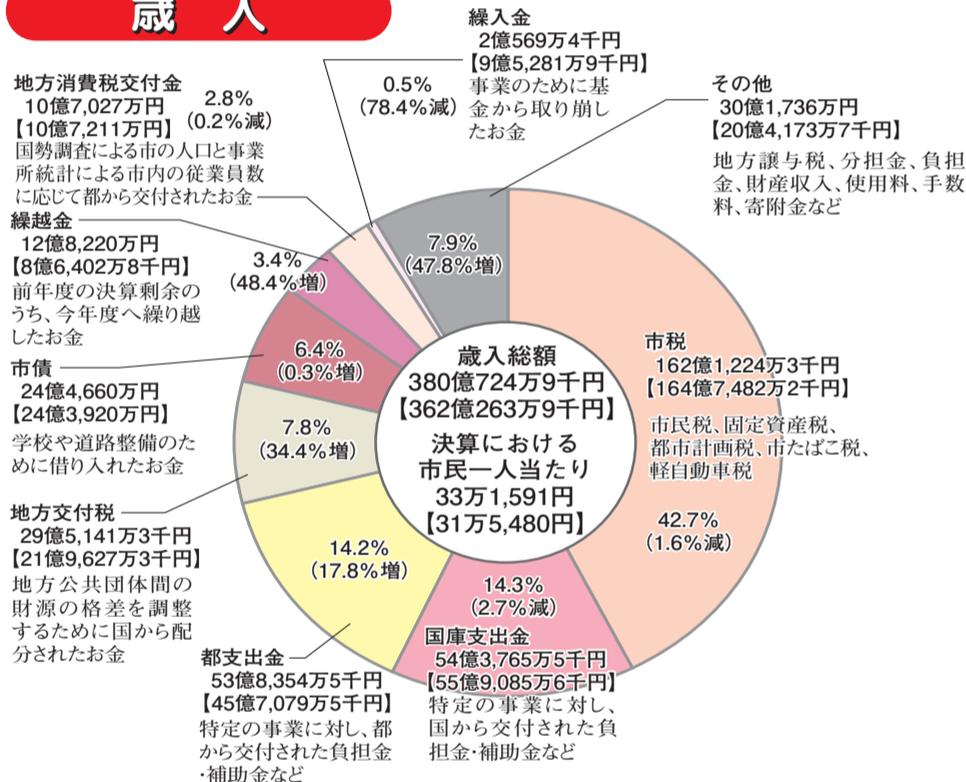
グラフに使用している金額は1,000円未満を四捨五入しているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

一般会計の歳入は、今なお続く景気低迷の影響を受けた市税のほか国庫支出金などが減少したものの、地方交付税・都支出金が増加しました。また22年度では、市立第八小学校跡地や消防本部前沢出張所跡地などの売却により、財産収入が約9億7443万円増加し、この結果、歳入総額は前年度に比べ5.0%の増加となりました。
歳出は、消防事務の東京消防庁への委託、定員適正化計画に基づく職員の削減や地域手当支給率の見直しなどにより、人件費が約16億983万円減少、また、定額給付金の支給がなくなったことなどにより、補助費等および物件費などが減少しました。しかし、子ども手当の支給や生活保護費などの増加により、扶助費が約21億2307万円増加したことに加え、旧保健福祉センターなどの残債の一括償還による公債費の増加や、教育振興基金などへの積立金の増加などにより、歳出総額は5.7%の増加となりました。
今後も景気の低迷による歳入の減少と、社会保障費など歳出の増加が見込まれることから、市では、より一層の歳入確保と事務事業の見直しを継続して行い、財政健全化に努めていきます。

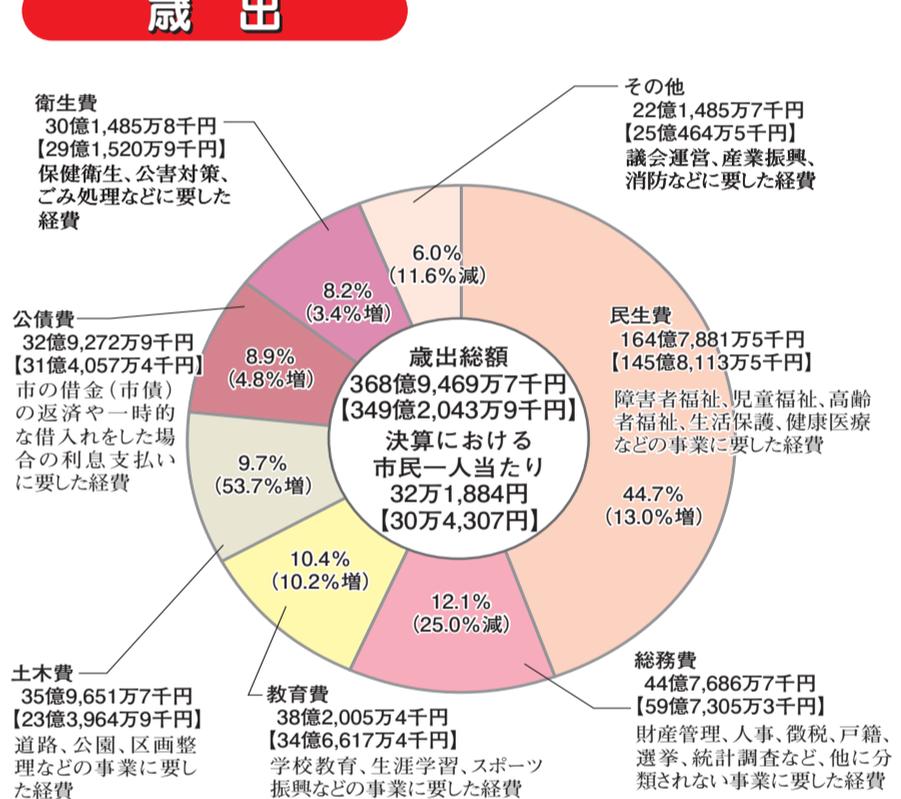
一般会計

一般会計は、市民の皆さんに納めていただく市税を中心に、地方交付税や国・都支出金、市債などを財源として、公共施設の整備、福祉、保健衛生、消防、教育など、市民生活を支える基本的経費が計上されています。

歳入



歳出



※各円グラフの()内は決算額の前年度比増減率です。
※各円グラフの【 】内は前年度決算額です。

市税収入の状況

税目	決算額	市民一人当たり
個人市民税	73億5,497万円	6万4,168円
法人市民税	6億1,845万3千円	5,396円
固定資産税	62億3,255万6千円	5万4,375円
都市計画税	13億9,596万2千円	1万2,179円
市たばこ税	5億4,348万7千円	4,742円
軽自動車税	6,681万5千円	583円
合計	162億1,224万3千円	14万1,442円
(参考:21年度決算額)	164億7,482万2千円	14万3,566円

※23年3月31日現在の人口：11万4,621人

性質別支出の状況

性質	22年度		21年度	
	決算額	市民一人当たり	決算額	市民一人当たり
人件費	61億4,476万4千円	5万3,609円	77億5,459万7千円	6万7,576円
扶助費	93億255万4千円	8万1,159円	71億7,948万6千円	6万2,564円
公債費	32億8,985万円	2万8,702円	31億3,769万6千円	2万7,343円
物件費	53億3,371万円	4万6,533円	56億4,188万4千円	4万9,165円
維持補修費	1億9,762万6千円	1,724円	1億3,147万円	1,146円
補助費等	43億2,642万1千円	3万7,745円	48億548万7千円	4万1,876円
積立金	15億8,754万3千円	1万3,850円	4億7,683万3千円	4,155円
投資及び出資金・貸付金	8,579万5千円	749円	1億238万9千円	892円
繰出金	42億4,215万7千円	3万7,010円	35億5,750万円	3万1,001円
前年度繰上充用金	0円	0円	0円	0円
投資的経費	23億6,030万円	2万592円	20億3,753万9千円	1万7,756円

※性質別の金額は、「一般会計」と「公営事業会計以外の特別会計」の数値を組み替えて作成した決算統計(地方自治体の決算についての統計)上の数値です。

目的別支出の状況(主な内訳)

目的	決算額	市民一人当たり
総務(総務費)		
一般管理	10億2,695万6千円	8,960円
財産管理	4億6,035万7千円	4,016円
電算管理	3億5,995万5千円	3,140円
コミュニティ振興	1億9,429万4千円	1,695円
徴税	4億8,045万6千円	4,192円
福祉(民生費)		
高齢者	22億4,904万8千円	1万9,622円
障害者	22億4,088万6千円	1万9,550円
子育て	72億4,858万5千円	6万3,240円
生活扶助	30億3,196万円	2万6,452円
環境・ごみ処理(衛生費)		
保健衛生	10億1,024万3千円	8,814円
公害対策	7,043万3千円	614円
清掃	19億3,418万3千円	1万6,875円
産業振興(農林業費・商工費)		
農業	6,107万5千円	533円
商工	1億5,593万1千円	1,360円
生活基盤(土木費)		
道路	22億4,140万4千円	1万9,555円
河川	2,379万6千円	208円
公園	3,747万円	327円
教育・文化(教育費)		
小学校	14億5,173万4千円	1万2,666円
中学校	5億8,484万8千円	5,102円
図書館	2億9,057万3千円	2,535円
生涯学習センター	8,774万3千円	766円
社会教育	8,341万9千円	728円
スポーツ	2億2,734万4千円	1,983円
防災(消防費)		
消防	16億9,825万6千円	1万4,816円
借金返済(公債費)		
市債元金利子償還	32億8,020万8千円	2万8,618円

今年一年間「広報ひがしくるめ」をご愛読いただき、ありがとうございました。
次号は24年1月7日に発行します。

22年度決算のあらまは、2面に続きます。

《今号の主な内容》

- 旧大田幼稚園園舎の跡利用案について
- 黒目川河川管理用通路の通行止めのお知らせ
- 24年度市営自転車等駐車場の利用登録のご案内
- 年末年始におけるごみの収集と医療体制など